

IT革命と農山村等地方からの情報発信研究会（第1回）議事概要

1 日 時 平成12年9月27日(水) 14:00～16:00

2 場 所 経済企画庁会議室（708号室）

3 出席者

（委員）中川 聰七郎 座長

飯塚 克己、大野 良彦、菅野 健一、小林 義人、秦 章人、藤井 宏一、前田 博、森内 真人の各委員

（事務局）牛嶋総合計画局長、永谷審議官、藤塚計画課長 他

4 議 題

- ・検討項目・論点について
- ・今後の進め方について

5 議事内容

牛嶋局長より挨拶の後、議事。

（1）検討項目・論点について

事務局より資料説明の後、討議。各委員からの主な発言は以下のとおり。

（各委員の主な発言）

農山村からの情報発信の状況は地域によって差があり、高齢化が進んでいるにもかかわらず積極的にITに取り組んでいるところもあれば、その逆のところもある。

Uターン希望者は不景気になると増え、好景気だと減る傾向があるが、Iターン希望者については景気とは無関係だと言われている。

自分が居住する場所を選択するにあたって、現在の傾向では、自分の出身地と首都圏の2者択一になっている。今後は、地方出身者が地方を選択する、という動きも必要なのではないか。農山村の住民の多くの人にとっては、これからIT社会になると言われても、実際に自分の周りで整備されないと実感がわかない、というのが実態である。

現在は、地域の情報が売れる、言い換えれば地域の情報に商品価値がある時代である。

IT化を進めるにあたっては、バーチャルな世界の中だけでなく、本当の意味でのコミュニケーションが取れるようにすることが重要である。

地域からの情報発信を行うにあたっては、市町村の枠を超えた広域的な連携が必要となる。情報化は目的ではない。それぞれの地域が、何のために情報化するのか、というビジョンをもつことが重要である。

（2）今後の進め方について

事務局より資料説明。各委員からは特に意見なし。

以上

なお、本議事概要は速報のため、事後修正の可能性があります。

（問い合わせ先）経済企画庁総合計画局農林水産業班 高木（内線：5557）